

羽のように柔らかく、翡翠のように艶やかな歌声に彩られた
懐かしいあの歌、大好きなこの歌



Ensemble Hall
Concert Series
vol.7

びわ湖の午後 —— 1

米良美一

カウンターテナー

1999年1月28日(木) 14:00開演
滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール 小ホール

プログラム

赤とんぼ:山田耕筰／霧と話した:中田喜直
山寺の和尚さん:服部良一／この道:山田耕筰／夜来香:黎錦元
歌の翼に:メンデルスゾーン／君がほしい:サティ ほか

■主催=財団法人びわ湖ホール

■入場料=一般4,000円/学生席2,500円(いずれも全席指定)

●学生席はびわ湖ホールでのみ取り扱っております

●6歳未満のお子様はご入場になれません ●出演者の都合により、プログラムが変更になる場合があります。

■チケット取り扱い ●びわ湖ホール TEL.077-523-7136 ●チケットぴあ TEL.06-363-9999 ●チケットセゾン TEL.06-232-9090

チケット発売開始 10月31日(土) 10:00より

友の会優先発売開始 10月28日(水) 10:00より

滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 〒520-0806 滋賀県大津市打出浜15番1号

米良美一

カウンターテナー

男性がファルセット（裏声）唱法で歌うカウンターテナー。そのカウンターテナーの歌手を欠かすことのできない、オラトリオやカンタータといったバロックの声楽作品で、米良美一さんが頭角をあらわし始めたのは、つい3年ほど前のことです。日本での古楽演奏の水準がぐんぐん上がってきた頃で、海外からも、ヨッヘン・コヴァルスキーやドミニク・ヴィスといった花形カウンターテナーが来日して拍手喝采を浴びていました。

そんな頃の1996年、米良さんは日本の叙情歌集を集めたCDを発表し、一気にその名を知られるようになりました。このCDを楽しんだ人たちは、ここで歌われている声がカウンターテナーであるとか、ファルセットであるといったことは関わりなく、心の一番柔らかい部分にそっと囁きかけて、遠い昔を懐かしく思い出させてくれるような、そんな優しさを米良さんの歌の中に聴いたのでしょう。その後、宮崎駿監督のアニメ映画「もののけ姫」の主題歌を歌って爆発的な人気を呼び、さらにレパートリーを広げて、その活躍は留まるところを知りません。

豊かな響きが自慢のびわ湖ホール小ホールは、わずか323席。米良美一さんの美しい歌声を堪能できる、あなただけの特等席がここにあります。

プログラム

赤とんぼ：山田耕筰／霧と話した：中田喜直／山寺の和尚さん：服部良一
この道：山田耕筰／夜来香：黎錦元／歌の翼に：メンデルスゾーン／君がほしい：サティ ほか



米良美一（カウンターテナー）
Yoshikazu Mera, counter tenor

米良美一は世界を代表するカウンターテナー歌手としてその名声を築きつつある。本来のカウンターテナーのレパートリーをのびのびとモンテヴェルディやバッハなどの宗教曲を古楽の分野で高い評価を得るなか、ドイツ・リートから黒人霊歌やミュージカルナンバーまで幅広いレパートリーをこなす歌手としても親しまれている。「ミュージックフェア」（フジテレビ）「題名のない音楽会」「徹子の部屋」（テレビ朝日）「朝のバロック」（NHK-FM）「タケシの誰でもモビカソ」（テレビ東京）等テレビ・ラジオにも多数出演するほか、1997年夏に公開された宮崎駿監督作品、4月には東映映画「蓮如物語」（原作／五木寛之）のテーマ曲を歌うなど、クラシックにとどまらない新しいタイプのエンターテイナーとして大きな期待と注目を集めている。

1998年3月には、CD「ロマンス」で第12回ゴールドディスク大賞で、ベスト・クラシック・アルバム・オブ・ザ・イヤーを受賞。続いて「もののけ姫」の歌唱により第12回日本アカデミー賞 協会特別賞として協会初の主題歌賞を受賞するなど話題となる。現在ドイツ在住。



内山夏子（ピアノ）
Natsuko Uchiyama, piano

1978年都立芸術高校音楽科卒業後、ドイツ国立シュトゥットガルト音楽大学ピアノ科に入学。1983年同大学卒業。1983年9月イタリアのセニガリア国際ピアノ・コンクールにおいて入賞、同時に最優秀室内楽賞受賞。1986年同大学院芸術家コース卒業。留学中シュトゥットガルト、ヴィンケルスハイム、バードメルゲントハイム等においてリサイタルを開催。またフランクの交響的変奏曲、ベートーヴェンのピアノ協奏曲第3番を当地のオーケストラと共演。ドイツ放送、南ドイツ放送、南西ドイツ放送出演。87年帰国後東京シティフィルハーモニック管弦楽団との共演を始め、東京（87、90、92、95年）・ドイツ・諏訪でリサイタルを開催。NHKFM土曜リサイタルに出演。ソロや室内楽の活動を行う他、歌曲伴奏者としてもCDの録音を行うなど活躍している。現在、洗足学園大学音楽学部、及び同短期大学音楽科講師。舟木武子、マックス・エッガー、故リーゼロッテ・ギールト、弘中孝の各氏に師事。

若鮎たち — 1. 樫本大進〈ヴァイオリン〉

十代でロン＝ティボー国際コンクール優勝のヴァイオリニスト。これからの活躍を期待できる若手演奏家をご紹介しますシリーズの第1弾。●1999年3月24日（水）19:00開演 ●入場料—一般 5,000円／学生席 3,000円（いずれも全席指定） ●チケット発売開始 12月26日（土）／友の会優先発売開始 12月23日（水）

【びわ湖ホール友の会】会員募集中！

チケットの優先購入、情報誌、公演チケット情報の定期送付など、特典をいっぱいご用意しました。●年会費2312円（クレジットカード年会費1,312円を含む） ●お問い合わせ・お申し込み—財団法人びわ湖ホール事業部広報営業課 TEL.077-523-7137

滋賀県立芸術劇場

びわ湖ホール

〒520-0806
滋賀県大津市打出浜15番1号

●交通のご案内

大阪から39分、京都から10分、名古屋から60分（JR利用・大津駅着）

●JR大津駅前よりバス約5分（びわ湖ホール前下車）

●JR琵琶湖線「大津」駅、「膳所」駅より徒歩約15分

●京阪電鉄「石場」駅より徒歩約3分

●名神高速大津ICより約5分（びわ湖ホール駐車場854台・有料）

